

科目名 (科目番号)	栄養教育論Ⅱ (094181)	教員名 菊池 浩子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー			D307研究室(菊池)	
授業概要	栄養教育論Ⅰに引き続いて、社会や生活環境、健康栄養状態の特徴に基づいた栄養教育の実施についてを、栄養教育マネジメントとして具体的に学ぶ。栄養教育マネジメントについては、対象者の多様性に応じたアセスメント・目標設定・栄養教育プログラムの作成と実施・評価の方法ならびに教材・学習形態・モニタリングを理解する。集団を対象とした栄養教育マネジメントを具体的に考察し、ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開について、事例を含めて学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について(少なくとも)1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	栄養教育マネジメント(1)	到達目標:栄養教育のマネジメントサイクルと対象者の多様性について理解出来る 学習内容:栄養教育のマネジメントサイクルと対象者の多様性について学ぶ				
	2	栄養教育マネジメント(2)	到達目標:栄養教育におけるアセスメントの種類と方法について理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じた栄養教育アセスメントの種類と方法、問題点の抽出を学ぶ				
	3	栄養教育マネジメント(3)	到達目標:栄養教育における目標設定について、意義と方法が理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じた栄養教育の目標設定について、意義と方法を学ぶ				
	4	栄養教育マネジメント(4)	到達目標:栄養教育プログラム作成の基本理論と、カリキュラムの立案方法が理解出来る 学習内容:栄養教育プログラム作成の基本理論と、カリキュラムの立案方法を学ぶ				
	5	栄養教育マネジメント(5)	到達目標:評価の意義・種類・質向上、評価結果のフィードバックについて理解出来る 学習内容:栄養教育の評価・信頼性・妥当性・バイアスについて学ぶ				
	6	栄養教育マネジメント(6)	到達目標:学習形態、教材、学習段階の発展について理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じた栄養教育の方法について学ぶ				
	7	栄養教育マネジメント(7)	到達目標:コミュニケーション技術、プレゼンテーション技術について理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じた栄養教育実施の実際について学ぶ				
	8	栄養教育マネジメント(8)	到達目標:組織づくりと連携、教育実施者の技術、実施に向けての準備作業が理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じた栄養教育の実施について学ぶ				
	9	栄養教育マネジメント(9)	到達目標:準備性を考慮した面接、意欲の引き出し方、知識学習・技術修得が理解出来る 学習内容:対象者の多様性に応じて行動科学による栄養教育を行う実際について学ぶ				
	10	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(1)	到達目標:妊娠・授乳期の特徴と留意事項、母性の育成と栄養教育について理解出来る 学習内容:妊娠・授乳期の栄養教育について学ぶ				
	11	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(2)	到達目標:乳幼児期の特徴と留意点、食生活のリズム形成、味覚形成の栄養教育が理解出来る 学習内容:乳幼児期の栄養教育について学ぶ				
	12	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(3)	到達目標:学童期・思春期の特徴と留意事項、学校を拠点とした食育と栄養教育が理解出来る 学習内容:学童期・思春期の栄養教育について学ぶ				
	13	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(4)	到達目標:成人期の特徴と留意事項、ワークライフバランス、勤務形態の栄養教育が理解出来る 学習内容:成人期の栄養教育について学ぶ				
	14	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(5)	到達目標:高齢期の特徴と留意事項、高齢期のライフイベントと栄養教育が理解出来る 学習内容:高齢期の栄養教育について学ぶ				
	15	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の展開(6)	到達目標:医療・保健・福祉の連携およびノーマリゼーションと栄養教育が理解出来る 学習内容:傷患者および障がい者の栄養教育について学ぶ				
成績評価の方法・基準	確認試験(10%)、中間試験(20%)、課題提出と内容(10%)、期末試験(60%)を総合して評価します 此れ等の項目の総合評価への寄与割合は、授業開始時に確認伝達します						
教科書	カレント 栄養教育論	杉山みち子、赤松利恵、桑野稔子 編著			建帛社		
参考図書							
教員からのメッセージ	学生の興味関心や、その他の必要に応じて、授業内容を変更することがあります。栄養教育論の総論や各論を学ぶことは、自分自身の理解や成長の助けにもなります。人間の可能性を見つめ、対人援助職としての管理栄養士の在り方、やり甲斐・悦びについても、ご一緒に考えていきましょう。提出課題は授業時間内に返却します。						